

寿  
心

## 2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年2月2日

上場会社名 寿スピリッツ株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 2222 U R L <https://www.kotobukispirits.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 河越 誠剛  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役グループ経営管理 (氏名) 松本 真司 T E L 0859-22-7477  
 本部長  
 配当支払開始予定日 -  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2026年3月期第3四半期の連結業績 (2025年4月1日～2025年12月31日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
2026年3月期第3四半期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	58,485	8.7	14,011	3.4	14,113	3.7	9,331	3.4

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 9,335百万円 (3.8%) 2025年3月期第3四半期 8,993百万円 (13.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2026年3月期第3四半期	円 銭 60.43	円 銭 -
2025年3月期第3四半期	57.99	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
2026年3月期第3四半期	百万円 55,383	百万円 44,629	% 80.6	円 銭 288.96
2025年3月期	51,980	40,085	77.1	259.67

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 44,624百万円 2025年3月期 40,082百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年3月期	円 銭 -	円 銭 0.00	円 銭 -	円 銭 32.00	円 銭 32.00
2026年3月期	-	0.00	-		
2026年3月期(予想)				35.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2026年3月期の連結業績予想 (2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
通期	百万円 79,670	% 10.1	百万円 19,650	% 11.6	百万円 19,720	% 11.5	百万円 13,400	% 10.5

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無  
新規 一社 (社名) 一、除外 一社 (社名) 一

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期 3Q	155,658,402株	2025年3月期	155,658,402株
② 期末自己株式数	2026年3月期 3Q	1,225,366株	2025年3月期	1,295,797株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期 3Q	154,404,864株	2025年3月期 3Q	155,625,024株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況 （3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法について)

決算補足説明資料はTDnetで同日開示するとともに、当社ホームページに掲載いたします。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期の財政状態の概況 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記) .....	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	8
(セグメント情報等の注記) .....	9

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く事業環境は、雇用・所得環境の改善などにより、景気は持ち直しの動きが見られました。一方で、原材料価格の高騰や訪日客数の伸びの鈍化、また、継続的な物価上昇による消費者の節約志向の強まりなどにより、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループは、持続的な成長を目指すべく、中長期経営目標「Value Up Vision2030」を昨年5月に公表し、「お菓子の総合プロデューサー」をビジョン（Vision）に掲げ、美味しさと地域性を追求した「プレミアムギフトスイーツ」の創造と育成に注力いたしております。また、経営理念をベースとした「全員参画による超現場主義経営」の徹底実践を成長テーマに位置づけ、バリューアップに向けた様々な事業施策に取り組んでおります。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は58,485百万円（前年同期比8.7%増）、営業利益は14,011百万円（前年同期比3.4%増）、経常利益は14,113百万円（前年同期比3.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は9,331百万円（前年同期比3.4%増）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

従来、「シュクレイ」と「九十九島グループ」は、それぞれ独立セグメントとしておりましたが、2025年4月1日付で実施した連結子会社間の組織再編（会社分割）に伴い、第1四半期連結会計期間より統合し、セグメント区分を「シュクレイグループ」に変更いたしており、以下の記載における前第3四半期連結累計期間との比較は、変更後の区分方法により作成した数値を使用しております。また、「寿製菓・但馬寿」としていた報告セグメントの名称を第1四半期連結会計期間より「寿製菓グループ」に変更いたしております。

#### ① シュクレイグループ

シュクレイグループは、首都圏エリアでは、主力ブランド「東京ミルクチーズ工場」のリブランディング第一弾として昨年6月に看板商品のリニューアルを実施いたしました。また、「ザ・ドロス」の新定番商品「サンドクッキー（マスカルポーネ&ヘーゼルナッツ）」の発売など、各ブランドにおいて主力商品を軸に季節限定などの新商品を順次投入し、ブランド訴求力の向上に努めました。インバウンド対策では、国際線ターミナルでの売場拡大に向け、販売人員の増強や「抹茶ちとせ」商品の拡販などに注力いたしました。出退店では、昨年9月、ニュウマン高輪に「東京ミルクチーズ工場」がリブランディング後初のフラッグシップ店舗を出店、また、新ブランドでは昨年11月、阪神梅田本店に「ソルトラ」、西武池袋本店に「バニスター」をそれぞれ出店、昨年12月には博多エキナカ マイングに「博ったらし」を出店するなど、8店の出店及び3店の退店を行いました。その結果、売上高は27,285百万円（前年同期比7.0%増）、営業利益は5,355百万円（前年同期比3.3%増）となりました。

#### ② ケイシイシイ

「ルタオ」を擁するケイシイシイは、更なるブランド価値の増大に向け、直営店舗の「ルタオ新千歳空港店」及び「ルタオ札幌大丸店」の全面リニューアルを行い、また、新紅茶カテゴリー「& L e T A O」の発売や新作限定スイーツを順次投入するなど、新商品開発を推進いたしました。インバウンド対策では、国際線ターミナルでの売場拡大に向け、販売人員の増強や提案営業の推進などに注力いたしました。通信販売では、母の日やクリスマスなどの季節イベント対策を推進し、また、昨年6月、「ルタオ」のポイント制度のリニューアルを行い、店舗とオンラインショップとの相互連携を図りました。「ナウオンチーズ」などの首都圏ブランドでは、ブランド認知度を高めるため、期間限定出店に注力いたしました。その結果、売上高は16,887百万円（前年同期比8.1%増）となり、営業利益は3,492百万円（前年同期比6.8%減）となりました。

#### ③ 寿製菓グループ

寿製菓グループは、新商品開発に注力し、主要代理店や販売子会社への提案営業を推進いたしました。販路拡大では、沖縄において、OEM展開の推進や自社ブランド「ニューキュー」の展開強化などに取り組みました。地元の山陰地区では、昨年8月にJR鳥取駅の商業ゾーンのリニューアルにあわせ、セレクトショップ「鳥取菓の座」をリニューアルオープンいたしました。その結果、売上高は12,959百万円（前年同期比12.3%増）、営業利益は3,143百万円（前年同期比13.6%増）となりました。

#### ④ 販売子会社

販売子会社は、各販売拠点において主力商品対策及び地域特性にマッチした新商品の発売などに注力いたしました。エリア別では、東海地区は、季節限定新商品「伊勢奉祝ぜんざいもち」の発売、関西地区は、主力商品「大阪はちみつクトロフルマッジ」の販売強化などに取り組みました。また、福岡地区では、10周年を迎えた「博多まっかな苺」ブランドの展開強化を推進しました。その結果、売上高は5,941百万円（前年同期比6.5%増）、営業利益は834百万円（前年同期比10.9%増）となりました。

#### ⑤ その他

その他は、損害保険代理業、健康食品事業、海外（台湾）における菓子事業が含まれております。売上高は465百万円（前年同期比0.7%減）となり、営業利益は1百万円（前年同期比91.3%減）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、55,383百万円となり前連結会計年度末と比べ3,402百万円増加いたしました。

主な要因は、受取手形及び売掛金の増加（2,944百万円）、有形固定資産の増加（574百万円）などによるものです。

負債は、10,753百万円となり前連結会計年度末と比べ1,141百万円減少いたしました。

主な要因は、支払手形及び買掛金の増加（472百万円）、未払金の増加（382百万円）、未払法人税等の減少（1,384百万円）、賞与引当金の減少（563百万円）などによるものです。

純資産は、44,629百万円となり前連結会計年度末と比べ4,544百万円増加いたしました。

主な要因は、配当金の支払いによる減少（4,939百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益計上による増加（9,331百万円）などによるものです。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ3.5ポイント増加し80.6%となり、1株当たり純資産額は288円96銭となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想に関しましては、本資料発表日現在におきましては、前回公表数字（2025年5月13日付「2025年3月期決算短信」）からの変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流动資産		
現金及び預金	26,081	25,407
受取手形及び売掛金	7,400	10,344
商品及び製品	2,882	3,021
仕掛品	155	196
原材料及び貯蔵品	913	1,095
その他	216	289
貸倒引当金	△0	△0
流动資産合計	37,649	40,354
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,980	5,225
機械装置及び運搬具（純額）	2,934	3,199
工具、器具及び備品（純額）	425	495
土地	3,026	3,067
リース資産（純額）	11	16
建設仮勘定	141	90
有形固定資産合計	11,520	12,094
無形固定資産	108	144
投資その他の資産		
その他	2,707	2,794
貸倒引当金	△5	△5
投資その他の資産合計	2,702	2,789
固定資産合計	14,331	15,028
資産合計	51,980	55,383

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
支払手形及び買掛金	2,169	2,642
1年内返済予定の長期借入金	300	—
未払金	1,575	1,957
未払法人税等	3,327	1,943
賞与引当金	1,222	659
その他	1,141	1,334
<b>流動負債合計</b>	<b>9,735</b>	<b>8,537</b>
<b>固定負債</b>		
退職給付に係る負債	1,916	1,969
その他	242	246
<b>固定負債合計</b>	<b>2,158</b>	<b>2,215</b>
<b>負債合計</b>	<b>11,894</b>	<b>10,753</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	1,263	1,263
資本剰余金	1,368	1,350
利益剰余金	40,274	44,665
自己株式	△3,006	△2,842
<b>株主資本合計</b>	<b>39,900</b>	<b>44,437</b>
<b>その他の包括利益累計額</b>		
その他有価証券評価差額金	54	74
為替換算調整勘定	25	33
退職給付に係る調整累計額	101	79
<b>その他の包括利益累計額合計</b>	<b>182</b>	<b>187</b>
<b>非支配株主持分</b>	<b>2</b>	<b>5</b>
<b>純資産合計</b>	<b>40,085</b>	<b>44,629</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>51,980</b>	<b>55,383</b>

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	53,807	58,485
売上原価	20,367	22,806
売上総利益	33,439	35,678
販売費及び一般管理費	19,894	21,666
営業利益	13,545	14,011
営業外収益		
受取利息	0	16
受取配当金	6	7
受取地代家賃	36	36
受取保険金	8	24
その他	17	20
営業外収益合計	70	106
営業外費用		
減価償却費	1	2
その他	7	2
営業外費用合計	9	5
経常利益	13,606	14,113
特別利益		
固定資産売却益	0	0
投資有価証券売却益	0	—
特別利益合計	0	0
特別損失		
固定資産除却損	6	88
減損損失	—	3
特別損失合計	6	91
税金等調整前四半期純利益	13,600	14,022
法人税等	4,576	4,691
四半期純利益	9,024	9,331
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0	△0
親会社株主に帰属する四半期純利益	9,024	9,331

## (四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	9,024	9,331
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1	19
為替換算調整勘定	△14	7
退職給付に係る調整額	△15	△22
その他の包括利益合計	△30	4
四半期包括利益	8,993	9,335
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	8,993	9,335
非支配株主に係る四半期包括利益	△0	△0

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	1,005百万円	1,216百万円

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 2024年4月1日至 2024年12月31日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				
	シュクレイ グループ	ケイシイシイ	寿製菓 グループ	販売子会社	計
売上高					
外部顧客への売上高	24,730	15,257	7,871	5,479	53,338
セグメント間の内部売上高又は振替高	760	370	3,668	100	4,899
計	25,490	15,628	11,539	5,580	58,238
セグメント利益	5,182	3,749	2,768	752	12,453

	その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額(注)3
売上高				
外部顧客への売上高	468	53,807	—	53,807
セグメント間の内部売上高又は振替高	0	4,900	△4,900	—
計	469	58,708	△4,900	53,807
セグメント利益	21	12,474	1,070	13,545

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、損害保険代理業、健康食品事業、並びに海外（台湾）における菓子事業が含まれております。

2. セグメント利益の調整額1,141百万円は、当社とセグメントとの内部取引消去額1,771百万円、セグメント間取引消去額93百万円、棚卸資産の調整額△87百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△636百万円であります。全社費用は主に提出会社におけるグループ管理に係る費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第3四半期連結累計期間（自 2025年4月1日至 2025年12月31日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				
	シュクレイ グループ	ケイシイシイ	寿製菓 グループ	販売子会社	計
売上高					
外部顧客への売上高	26,483	16,611	9,063	5,861	58,019
セグメント間の内部売上高又は振替高	802	276	3,895	79	5,054
計	27,285	16,887	12,959	5,941	63,073
セグメント利益	5,355	3,492	3,143	834	12,826

	その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額(注)3
売上高				
外部顧客への売上高	465	58,485	—	58,485
セグメント間の内部売上高又は振替高	0	5,054	△5,054	—
計	465	63,539	△5,054	58,485
セグメント利益	1	12,828	1,183	14,011

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、損害保険代理業、健康食品事業、並びに海外（台湾）における菓子事業が含まれております。
2. セグメント利益の調整額1,183百万円は、当社とセグメントとの内部取引消去額1,869百万円、セグメント間取引消去額23百万円、棚卸資産の調整額△37百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△671百万円であります。全社費用は主に提出会社におけるグループ管理に係る費用であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントの変更に関する事項

従来「シュクレイ」と「九十九島グループ」は、それぞれ独立セグメントとしておりましたが、2025年4月1日付で実施した連結子会社間の組織再編（会社分割）に伴い、第1四半期連結会計期間より統合し、セグメント区分を「シュクレイグループ」に変更いたしており、前第3四半期連結累計期間との比較は、変更後の区分方法により作成した数値を使用しております。また、「寿製菓・但馬寿」としていた報告セグメントの名称を第1四半期連結会計期間より「寿製菓グループ」に変更いたしております。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

## (固定資産に係る重要な減損損失)

「シュクレイグループ」セグメントにおいて、店舗の閉店が決定されたことにより、回収可能性が認められなくなった事業資産に係る減損損失を特別損失に計上しております。なお、当該減損損失計上額は3百万円であります。